



2019年5月22日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰
(電話番号 03-6551-2601)

<マザーズ> 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

- 開催状況
- 開催日時 2019年5月22日 14:00~14:30
- 開催方法 対面による実開催
- 開催場所 東京国際フォーラム ガラス棟会議室
(東京都千代田区丸の内3丁目5番1号)
- 説明会資料名 株式会社トランスジェニック 2019年3月期決算説明会資料

【添付資料】

株式会社トランスジェニック 2019年3月期決算説明会資料

以上

2019年3月期 決算説明会



～人々の健康と豊かな暮らしのために～
<http://www.transgenic.co.jp>

2019年5月22日
株式会社トランスジェニック

注：当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づき作成しておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、今後の当社の経営成績及び財政状態につきましては、市場の動向、新技術の開発及び競合他社の状況等により、大きく変動する可能性があります。

I. 2019年3月期 連結決算概要

II. 2020年3月期 連結業績予想

III. 研究開発状況



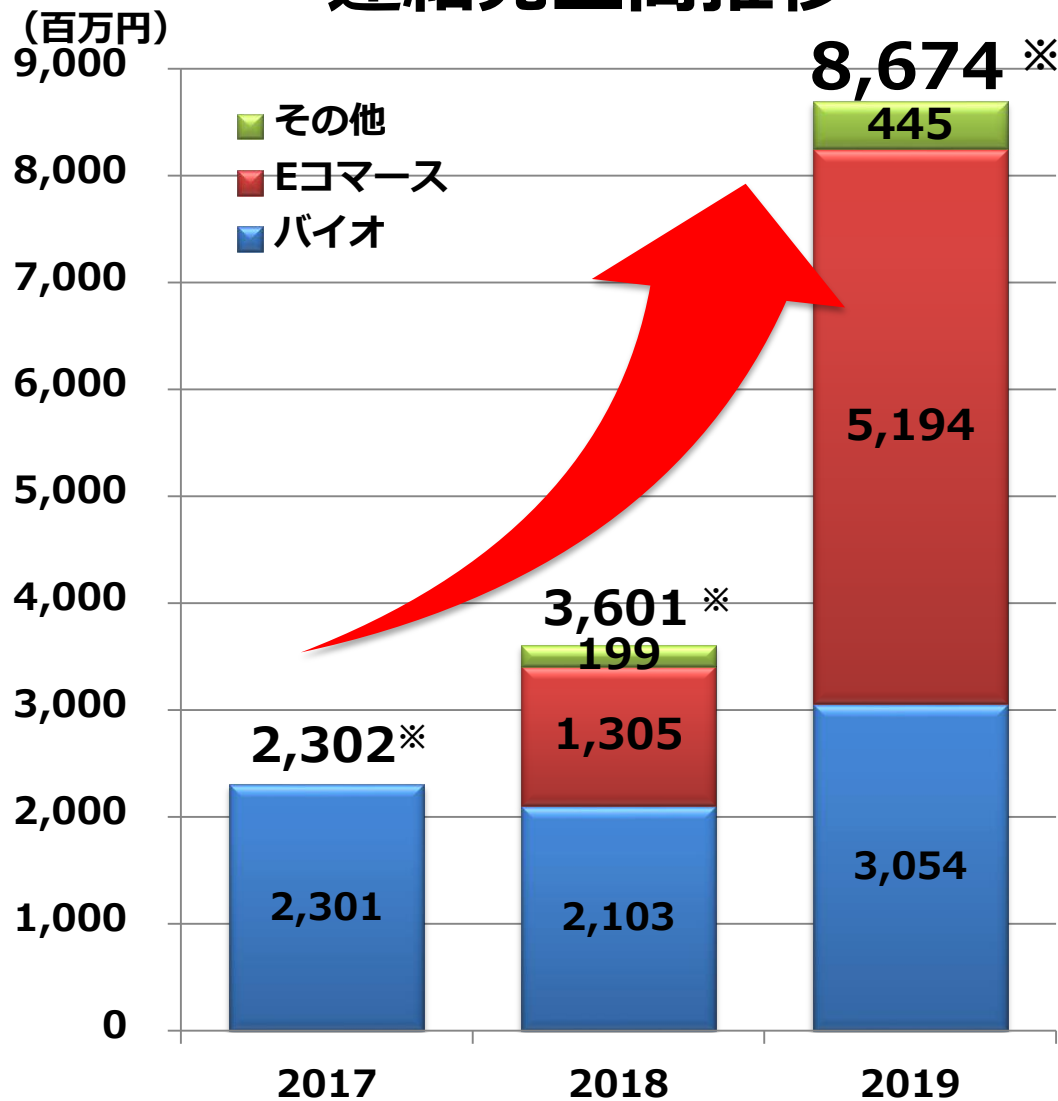
I .2019年3月期 連結決算概要

2019年3月期連結決算：ハイライト

- ◆ 前期実施のM&A効果が通年で寄与し、連結売上高及び利益は過去最高値を更新
- ◆ CRO事業の拡充及びTGBS事業通期貢献により、連結売上高前年比140.9%増加
- ◆ 連結売上高大幅増収に伴い、連結営業利益、経常利益及び最終利益も大幅増加

単位：千円	2018年3月期	2019年3月期	増減額
売上高	3,601,283	8,674,502	5,073,220
売上原価	2,778,826	7,176,053	4,397,228
売上総利益	822,457	1,498,449	675,992
販管費 (研究開発費)	761,903 (55,156)	1,228,384 (51,603)	466,482 (▲3,553)
営業利益	60,554	270,064	209,510
経常利益	14,459	256,432	241,973
親会社株主に帰属する 当期純利益	20,898	202,219	181,321

連結売上高推移



連結売上高
前年同期比
約2.4倍に拡大

バイオ関連売上も前年同
期比で約1.5倍に拡大

TGBS事業売上が期首か
らフルに貢献

※連結財務諸表計上額

バイオ関連売上高の推移

(セグメント間売上消去後)

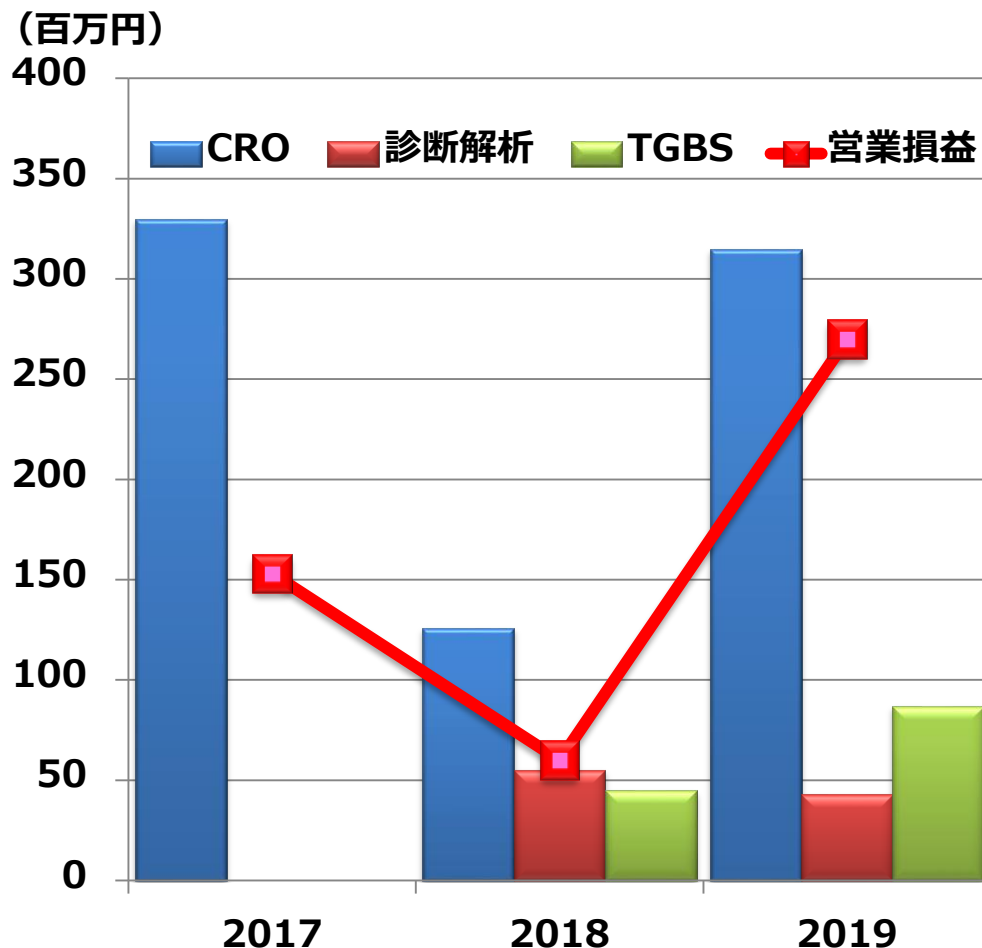
(百万円)



バイオ関連売上高
前年同期比
約1.5倍に拡大

(株)安評センター加入により
CRO売上が前年比大幅増加
診断解析事業も堅調に推移

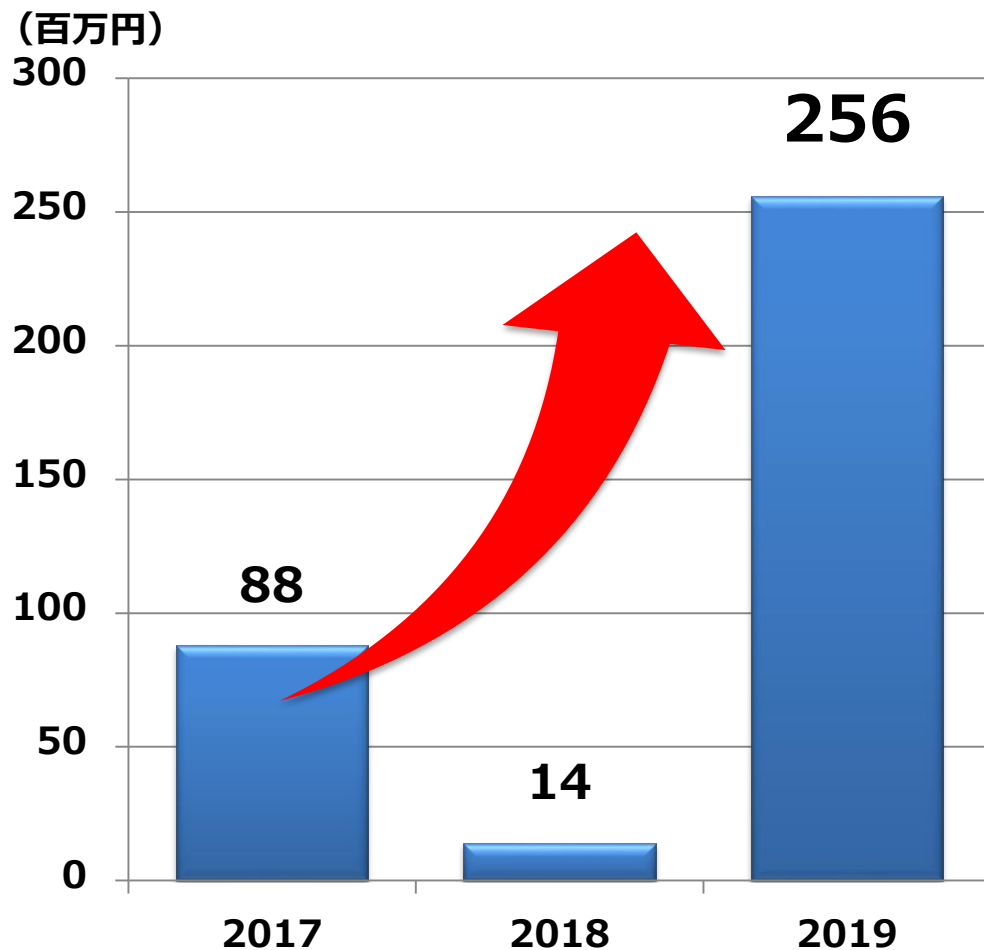
連結営業損益推移



連結営業利益
前年同期比約4.5倍
の270百万円

CRO事業利益拡大及
びTGBS利益底上げに
より、前年同期比
209百万円増加

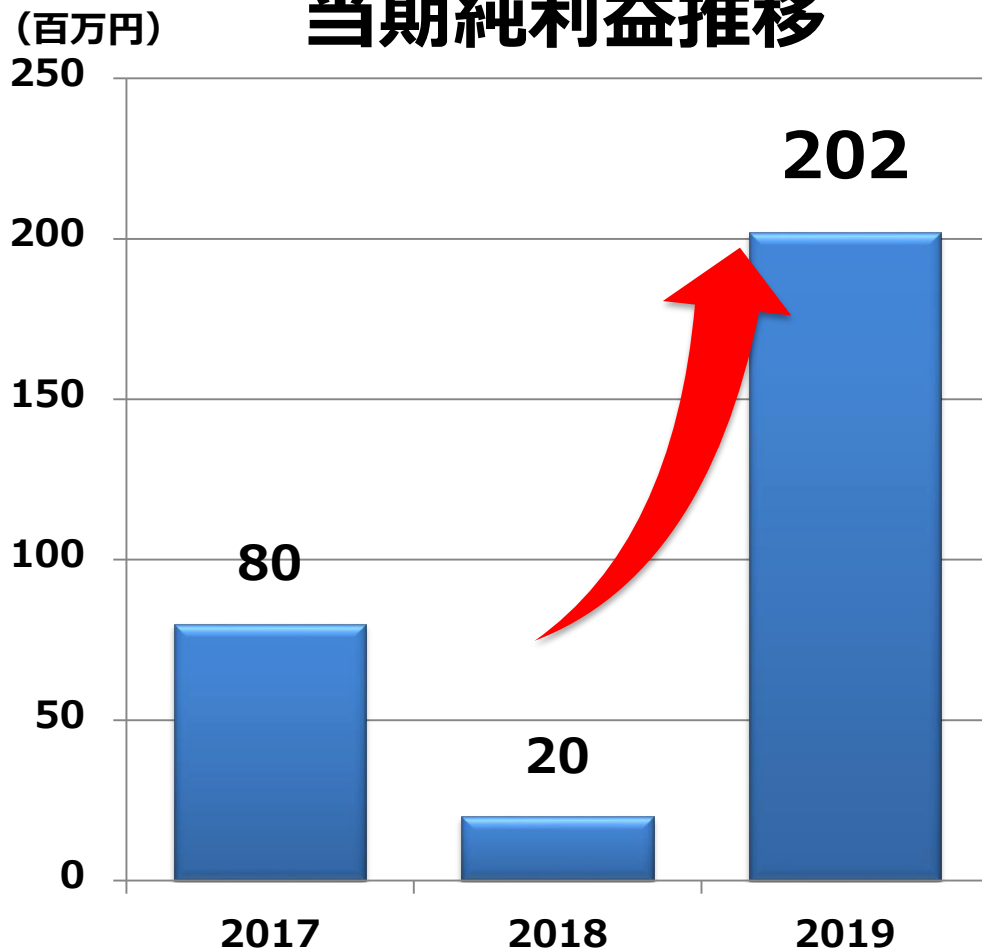
連結経常利益推移



**連結経常利益
前年同期比約18倍の
256百万円**

**営業利益大幅増加に
伴い、前年同期比
241百万円増加**

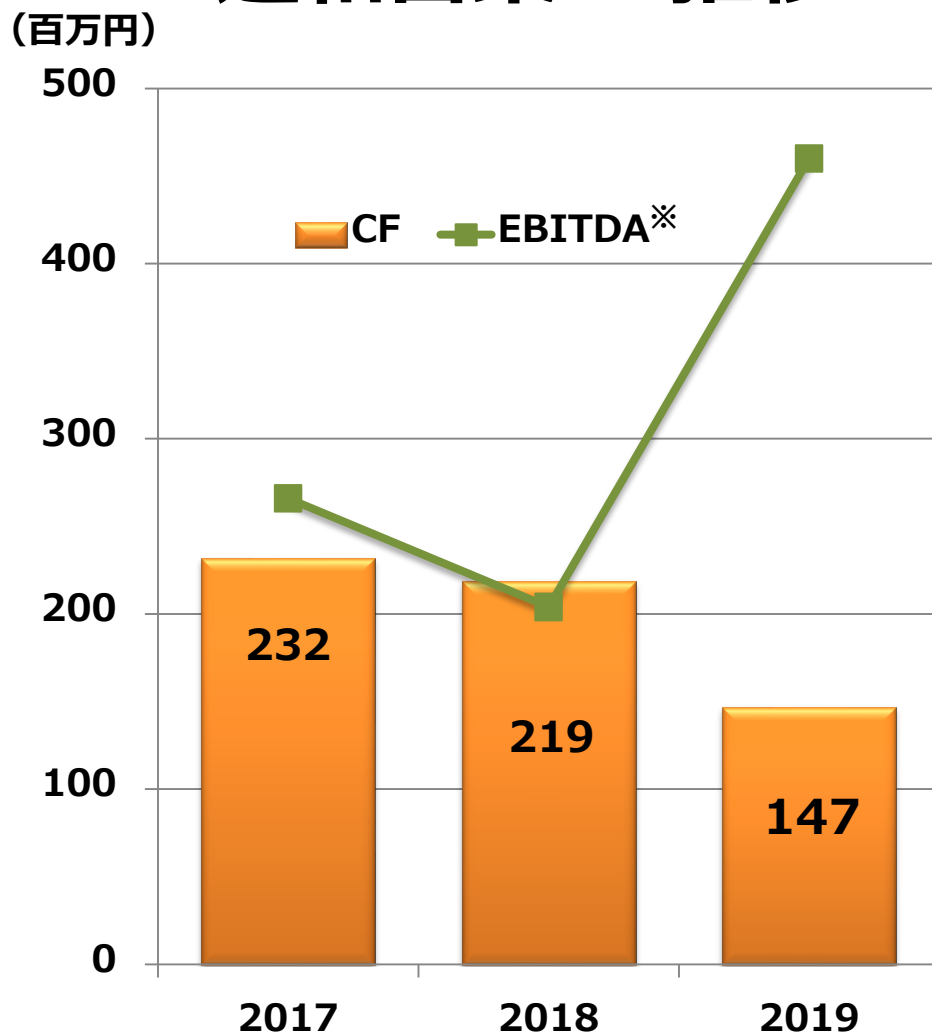
親会社株主に帰属する 当期純利益推移



連結当期純利益
前年同期比約10倍の
202百万円

**繰延税金資産追加計
上に伴い前年同期比
181百万円増加**

連結営業CF推移



※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

連結営業CF

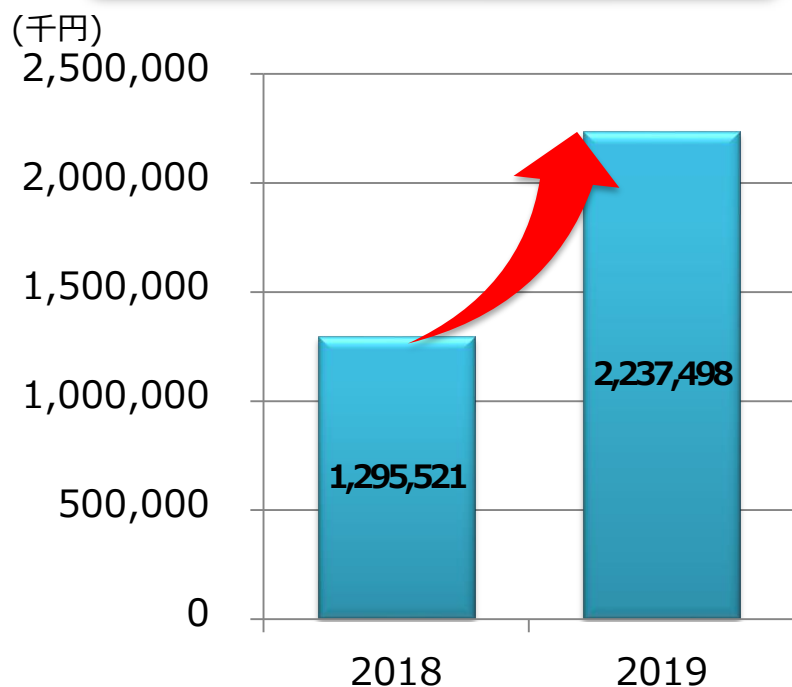
営業CFは減少しているが、EBITDAは営業損益拡大に伴い前年同期比約2.3倍の460百万円前年同期比256百万円増加

セグメント別業績概要：CRO事業

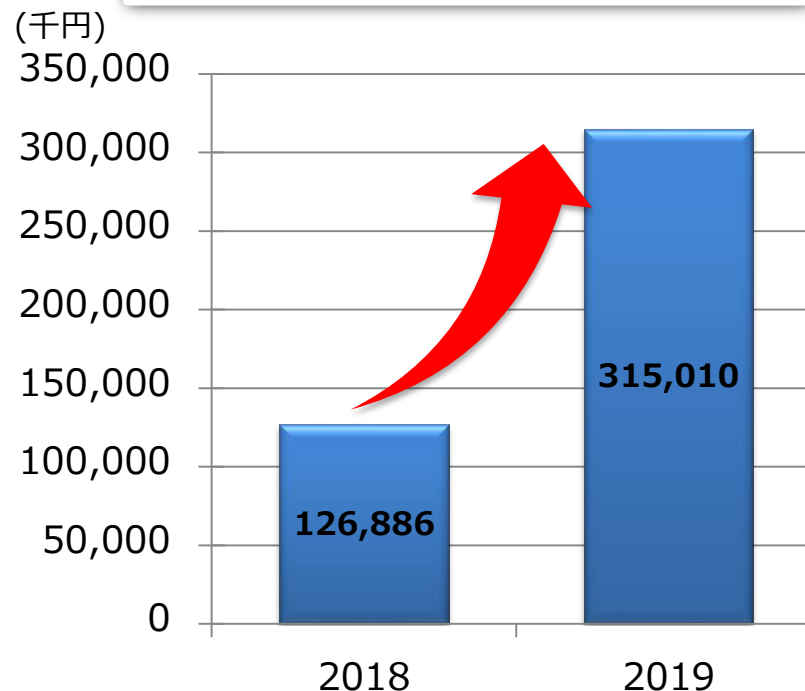
CRO事業

- (株)安評センターの連結加入に伴い売上高は前年同期比941百万円の大増収
- 事業基盤拡大に伴い営業利益についても前年同期比188百万円の大増益

売上高



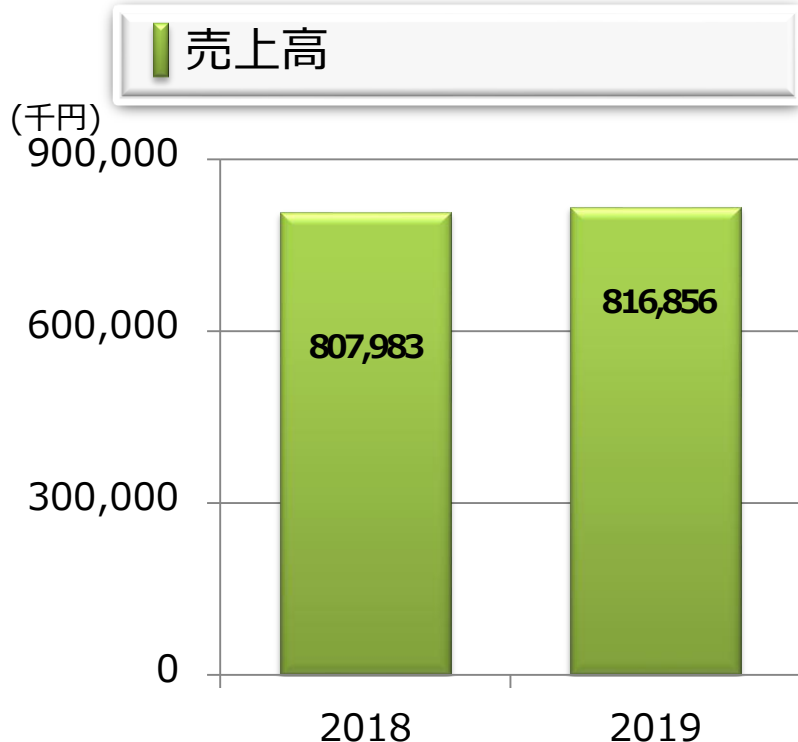
営業利益



※第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

診断解析事業

- 自己採取HPV検査拡大等により病理診断事業が堅調に推移し売上高は増収
- 補助金収入（12.8百万円）を原資とした研究開発推進により営業利益は12.2百万円の減益となるも、実質的には横這い



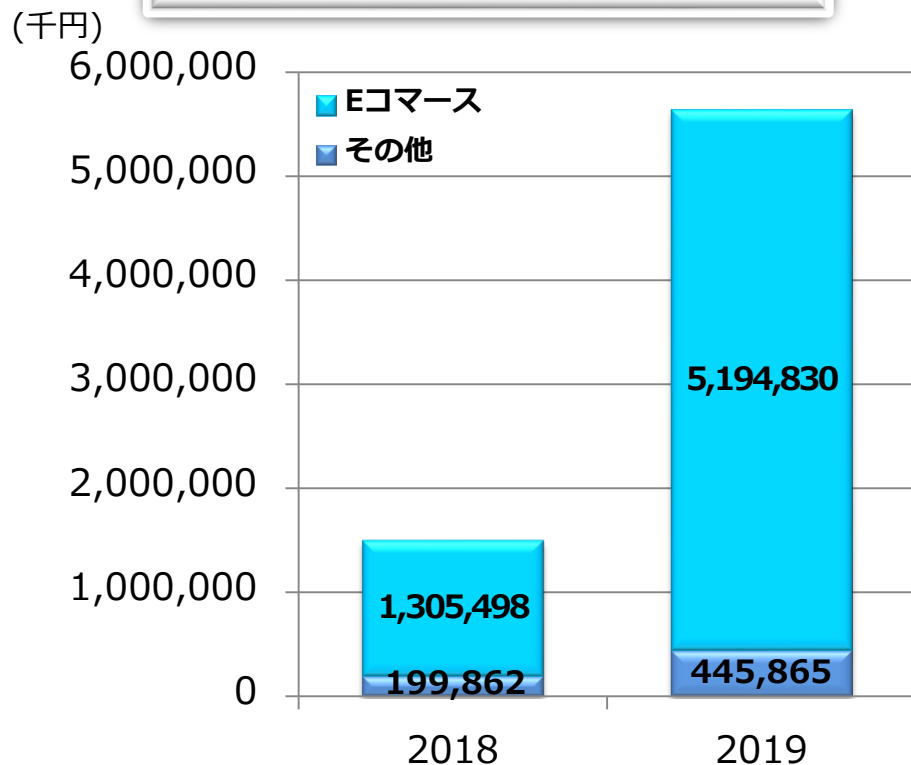
※第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

セグメント別業績概要：TGBS事業

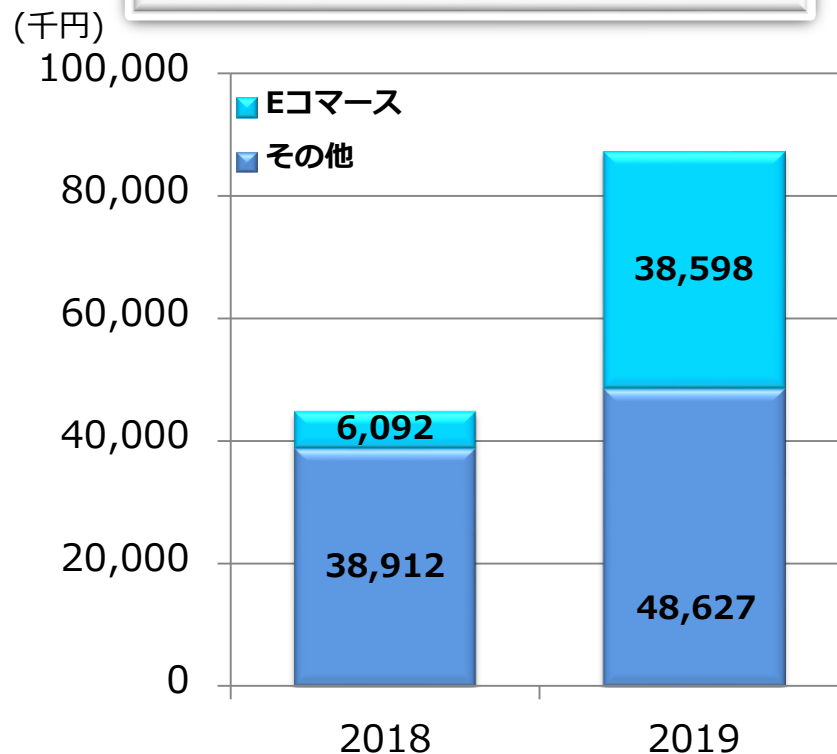
TGBS事業

- 2018年第4四半期から連結に加入したアウトレットプラザEC事業の通年貢献等により売上高は大幅増収を実現
- 営業利益についても通年効果により前年比でほぼ倍増

売上高



営業利益



2020年3月期 連結業績予想

- ◆ 売上高は、CRO事業は概ね横這い、TGBS事業はTGM加入による増収を予想
- ◆ CRO事業は設備費・人件費増、TGBS事業は消費税率引き上げによるEC事業の苦戦を予想するも、連結業績はTGM加入による増収増益を予想

単位：千円	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 (通期予想)	前期比	補足説明
売上高	8,674,502	9,850,000	113.6%	TGM加入で増収を予想
CRO事業	2,237,498	2,250,000	100.6%	繰越受注残増減により新薬は増収、安評は減収を予想
診断解析事業	816,856	820,000	100.4%	概ね前期並みを予想
TGBS事業	5,640,696	6,800,000	120.6%	消費税UPによりEC事業の苦戦を予想するも、TGM加入により増収を予想
本社・連結調整	▲20,548	▲20,000	-	
営業費用 (TGBS営業費用) (研究開発費)	8,404,438 (5,553,471) (51,603)	9,500,000 (6,650,000) (38,000)	113.0%	
営業利益	270,064	350,000	129.6%	
経常利益	256,432	290,000	113.1%	
親会社株主に帰属 する当期純利益	202,219	205,000	101.4%	前期は繰延税金資産の追加計上76百万円があるため、実質前期比163.5%を予想



Ⅲ.研究開発状況

Overview of Research & Development Pipeline モデルマウスの導入・開発状況

遺伝子改変技術開発

ROSA26座位での組換え

CRISPR/Cas9法

実用化済

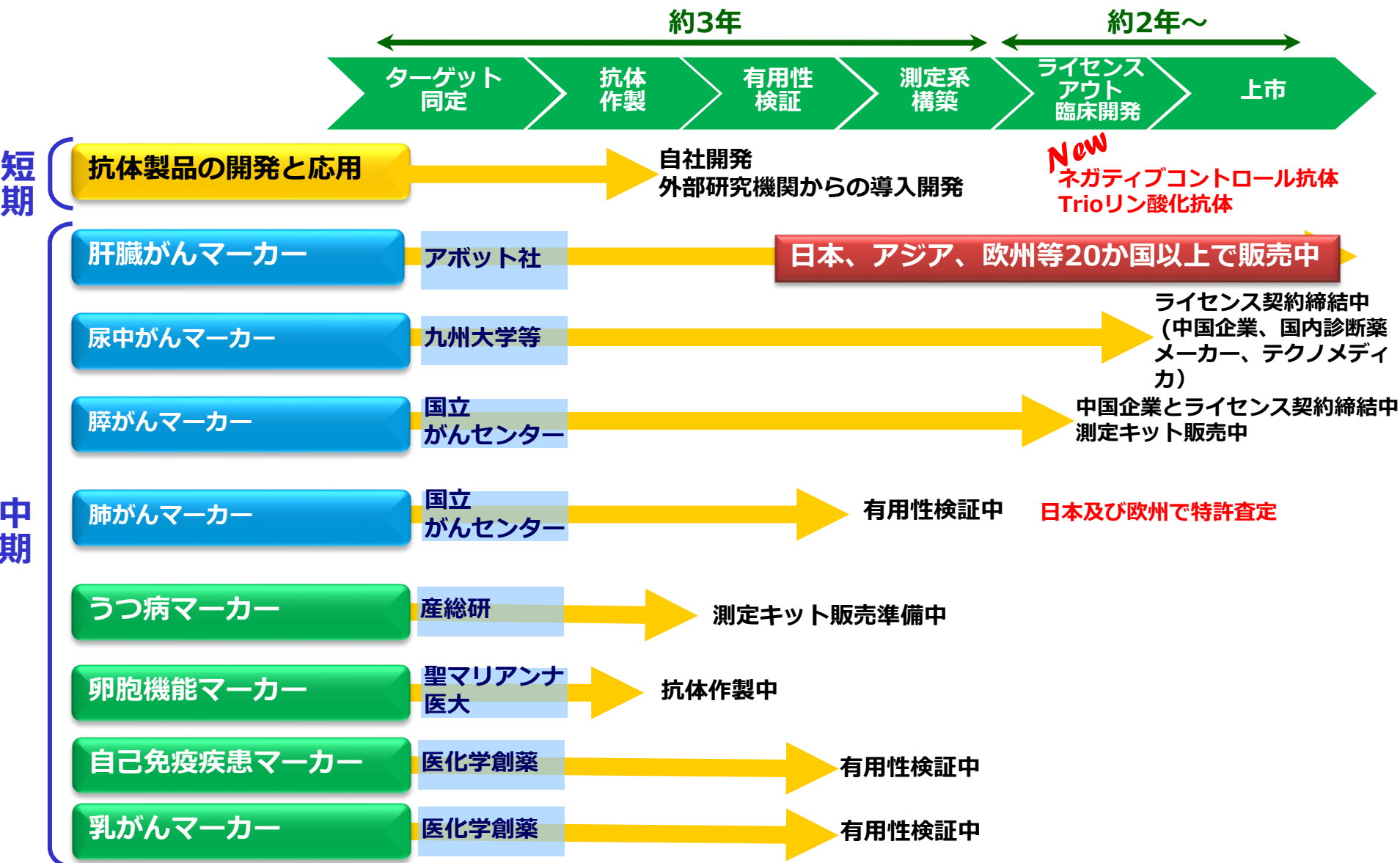
モデルマウス系統の開発

※自社または外部研究機関からの導入開発



モデルマウス系統	開発元	開発状況
病態可視化マウス	小胞体ストレス可視化マウス	理研 → 个体販売中
	酸化ストレス可視化マウス	群馬大 → 个体販売中
	炎症可視化マウス	群馬大 → 个体販売中
	生体ストレス可視化マウス	金沢医科大学 → 个体販売中
中枢神経系モデルマウス	アルツハイマー病モデルマウス	大阪市立大 → 受託サービス実施中
	認知症モデルマウス	(有)行動医科研 → 受託サービス実施中
	BDNF (脳由来神経栄養因子) 遺伝子改変マウス	産総研 → 受託サービス実施中 个体販売準備中
メタボリックシンドローム系モデルマウス	NASHモデルマウス	東大 → 受託サービス実施中
	肥満抑制モデルマウス	TG社 → 个体販売中
	夜型モデルマウス	産総研 → 个体販売中
	アトピー性皮膚炎モデルマウス	兵庫医科大、三重大 → 受託サービス実施中 个体販売中
	肝臓ヒト化マウス	熊本大・TG社 → 技術移転実施中

開発パイプライン状況：抗体・診断薬・治療薬



2018年

4月

東北大学未来科学技術共同研究センターとの共同研究契約締結※²東北大学未来科学技術共同研究センターとのモノクローナル抗体取扱い及び販売の契約締結※²AACR(米国がん学会) において研究成果発表※²

5月

「アトピー性皮膚炎モデルマウス」販売開始

「生体ストレス可視化マウス」販売開始

7月

BDNF(脳由来神経栄養因子) 遺伝子変異ノックインマウス販売契約締結

ノーステック財団の【札幌市補助事業】「先端研究産業応用検証補助金」に採択※¹※²

10月

子宮頸がん自己検査キットの大手薬局チェーン首都圏店舗での販売開始※¹「"ストップ！子宮頸がん"の会」市民フォーラム開催※¹

京ダイアグノスティクスとのヒトがん幹細胞スフェロイド移植マウスPDSXを用いた非臨床試験に関する業務提携契約締結

抗ポドプラニン抗体の販売開始※²北海道対がん協会における未受診者対策を目的とした自己採取HPV検査の研究調査受託※¹

11月

直線型糖鎖標準品の販売開始※²

12月

新規分析機器導入及びサービス開始※²自己採取HPV検査サービスの北海道羅臼町との契約締結※¹

京ダイアグノスティクスとの大腸がん転移に関するTrioリン酸化抗体の販売契約締結

エービー・サイエックスとの新規糖鎖解析技術の確立を目的とした共同研究契約締結※²

新規肺がんマーカーに対する抗体ならびにその診断応用に関する日本特許査定

■ 特許査定
 ■ 共同研究
 ■ ライセンス契約
 ■ 製品・サービス
 ■ 学会・論文
 ■ その他

当社グループ会社； ※1 ジェネティックラボ ※2 医化学創薬 ※3 新薬リサーチセンター ※4 安評センター

2019年

1月

ネガティブコントロール抗体の販売開始

炎症ストレス可視化マウスに関する日本特許査定

作製済ノックアウト系統及び表現型データベース提供サービスの開始

自己採取HPV検査サービスの北海道厚真町との契約締結※1

1月

抗ヒトリン酸化TRIO モノクローナル抗体 の販売開始

3月

旭化成ファーマ（株）との新規疼痛評価系の確立を目的とした共同研究契約締結※3

「農薬GLP適合性確認書」取得（適合）※4

新規定量分析機器導入および分析サービスを開始※4

霊長類の飼育管理許可の取得及び大型動物の非臨床試験受託の開始※4

HAINAN JINGANG BIOTECH CO. LTD.との霊長類の遺伝子改変動物作製に関する共同研究契約締結

抗体遺伝子の可変領域配列解析サービスの開始

新規肺がんマーカーに対する抗体ならびにその診断応用に関する欧州特許査定

ノーステック財団「先端研究産業応用検証補助事業」の採択および平成30年度「先端研究産業応用検証補助金」の受領 ※1

LC-MS装置を利用した受託解析サービスの開始※2

■ 特許査定
 ■ 共同研究
 ■ ライセンス契約
 ■ 製品・サービス
 ■ 学会・論文
 ■ その他

当社グループ会社； ※1 ジェネティックラボ ※2 医化学創薬 ※3 新薬リサーチセンター ※4 安評センター



～人々の健康と豊かな暮らしのために～

<http://www.transgenic.co.jp>